

令和5年度 小・中連携研修会のまとめ【甲東中、山下小、松原小】

1 令和5年度 甲東中グループ研究主題

不登校・中1ギャップ等の課題を解決するための小中連携はいかにあるべきか

2 研究主題設定の理由

授業参観、グループ別協議を通して同じ中学校区内で学ぶ児童・生徒の実態や学習指導面、生活指導面、特別支援教育の面における共通の課題とその要因、解決策等について協議し、共通実践していくことにより、系統的な指導の充実が図れるようにする。

3 研究の視点

- (1) 確かな基礎学力の定着を図るための学習指導の在り方
- (2) 児童・生徒の自発的・主体的な成長を支える生徒指導の在り方
- (3) 児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するための特別支援教育の在り方
- (4) 「生きる力」を育むための教育課程の工夫・改善

4 研修会の内容

学力向上分科会	生徒指導分科会	特別支援教育分科会
【協議内容、課題】 <ul style="list-style-type: none">・ 学力の個人差への対応・ 家庭学習の取組充実・ ICT活用力の向上（児童生徒、職員）	【協議内容、課題】 <ul style="list-style-type: none">・ 不登校等への対応・ ゲーム、YouTube等による生活リズムの乱れ・ 校外での問題行動	【協議内容、課題】 <ul style="list-style-type: none">・ 校内、校種間での確実な引継ぎ・ 多学年学級での授業の進め方・ 個の発達の特性等に応じた指導の進め方
【共通実践事項】 <ul style="list-style-type: none">☆ 学力向上に向けたICT機器活用の充実☆ 学力の定着を図る時間の確保や手立ての工夫	【共通実践事項】 <ul style="list-style-type: none">☆ ゲーム・スマホ等のメディア端末の適切な利用についての指導の充実☆ 関係機関等と連携した組織的な不登校傾向児童生徒への対応	【共通実践事項】 <ul style="list-style-type: none">☆ 校内での定期的な情報共有と小中学校間の確実な引継ぎ☆ 関係機関等と連携した就学指導の推進

5 成果と課題

(1) 成果

- 授業参観では、資料に教師の手立てが明記されており、視点をもって参観できて参考になった。
- 事前打合せ会で協議内容を2つずつに絞ることができていたので、分科会では具体的な取組について協議することができた。
- グループ討議では、3校の現状課題を共有した上で、校種に応じた共通実践事項の取り組み方を話し合うことができた。
- 年度末に共通実践事項の取組アンケートを集約し、各校に返すことができた。

(2) 課題

- 研修会以降に、教科や領域等の部会に限らず、相互の連絡・相談等、多様な小中連携の在り方を検討していく必要がある。